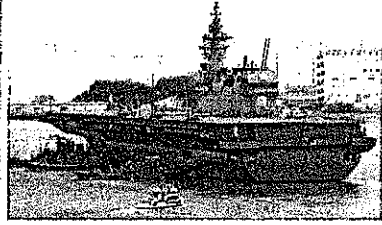


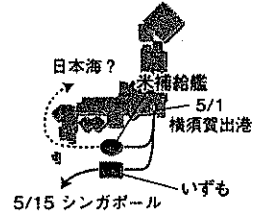
海自が「米艦防護」実施

初の戦争法任務米の戦争に参戦の危険



横須賀基地を出港する海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」。午前、神奈川県横須賀市

○「いずも」と米補給艦の動き



海上自衛隊最大級の艦船「いずも」は、稲田防衛相が命じた。昨年3月の同法施行後、任務実施は初めら防護します。

米軍の要請を受け、米艦防護は四国沖まで米補給艦と併走しながら防護します。その後、リチャード・E・バードは日本海に向かい、北朝鮮に軍事的圧力をかけている米原子力空母カール・ビンソンやイースター・ポイントなどの燃料補給などを行うとみられます。

となので答えられない」と95条の「武器等防護」に基づき、米艦防護は「いずも」は「米艦防護」を武器等防護として防護することになり、米軍の戦争に主権の国際艦艇式(15日)整備で改定された自衛隊法に参戦する危険性が高まりま

「米艦防護」戦争法発動に強く抗議

対話と交渉による解決に力つくせ

志位委員長が批判

日本共産党の志位和夫委員長は1日、日本政府が北朝鮮情勢を悪用し、海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」を命じたことに対し、「安保法制戦争法が発動されたことに強く抗議したい。日米

艦防護」を海上自衛隊に命じた事態は、二重の問題を引き起こす危険があると指摘しました。

一つは、軍事対軍事の危険なエスカレーションをさらに加速させることです。もう一つは、万が一、トランプ政権が北朝鮮に対する軍事攻撃に踏み切った場合、自衛隊が「米艦防護」のために武器使用を行うことになれば、自衛隊が自動的に参戦することになる危険です。

志位氏は「この地域に破壊的な影響を及ぼす戦争に日本が参戦する危険がある。このような形で安保法制戦争法の発動には絶対反対」と強調しました。